

22. 3. 12  
北国(朝・夕)  
国際交流課

◆初代新潟総領事に王氏  
中国政府が近く新潟市に開設する総領事館の初代総領事に江蘇省外事弁公室の王華主任(46)を起用する方向で検討に入ったことが11日分かった。中国関係者が明らかにした。王氏は江蘇省出身。日中の外交相互主義に基づき措置で日本は昨年1月、中国・青島に総領事館を設け、中国総領事館は札幌、名古屋、大阪、福岡、長崎に続き新潟市でも力所目となる。

22. 3. 12  
北中(朝・夕)  
国際交流課

### 最新の上海事情を紹介

北國銀行の金沢商高の就業体験で



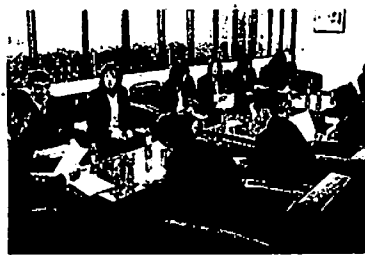
中国事情を聞く生徒たち=上海市内で(北國銀行提供)

北國銀行は十日、金沢商高二年生十人をインターンシップ(就業体験)で中国の上海駐在員事務所で受け入れた。今年で五回目。筆安史事務所長が五月の上海万博を控えて建設ブッシュが続いていることなど現地の最新事情を紹介した。生徒らは七日から十日まで南京、蘇州、上海を訪れ、南京旅遊職業学院や日系企業などを視察している。

22. 3. 12  
北国(朝・夕)  
国際交流課

### 上海で就業体験

金商高10人、北國銀事務所で



北國銀行は11日まで、中国の上海駐在員事務所で金沢商高2年生10人のインターンシップ(就業体験)を受け入れ、写真、現地事情を説明した。同所長は「就業体験を通じて将来、上海で働くような大人になってほしい」としている。同校は7日から12日まで、石川県から蘇州、上海に進出している企業を訪問する。

22. 3. 12  
北国(朝・夕)  
国際交流課

日印協会長の森喜朗元首相は15日からインドを訪問する。18日にはシン首相と会談し、森氏が首相在任中に道筋をつけた経済交流など両国間の協力関係の強化について、意見を交わす見通しだ。森氏は2000(平成12)年夏に日本の首多敷進出しているインド南部のタミルナド州の州都チェンナイも訪問。州首相と会談するほか、コマンの工場や、東芝の合弁工場建設地の視察、日産自動車の工場開所式への出席などを予定する。日印協会と日印協会による協力覚書の署名式も行われる。19日に帰国する。

22. 3. 12  
北中(朝・夕)  
国際交流課

## 自閉症、倫理テーマ

24日 金大で国際シンポ

金沢大宝町キャンパスが発達障害支援の現状  
又で二十四日、自閉症や自閉症に対する倫理  
と神経倫理をテーマに 当日は午前九時から  
した国際シンポジウム 午後三時二十分まで、  
が開かれる。市民公開 キャンパス十全講堂で  
の講演会では、日本と 五つの演題を公開。  
米国の研究者や専門医

「米国における発達障  
害支援と小児科医の役  
割」や「支援の必要な  
子どもたちのための教  
育方法」では、米国で  
活動する専門家が実情  
を話して話す。

「自閉症倫理」の講演  
では、米オハイオ州立  
ケンント大のデボラ・バ  
ンバーム准教授が自閉  
症倫理の概要や、治療  
と共生の観点から最先  
端の研究を紹介する。  
シンポジウムは金沢  
大子どものこころの発  
達研究センターなどが  
主催。託児サービス有  
り(十六日まで)に要予  
約。問い合わせは、同

大大学院脳細胞遺伝子  
学教室 電076(2  
65)24588へ。

22. 3. 12  
北中(朝・夕)  
国際交流課

## 和倉—東京間に新高速バス

### 丸一観光きょうから毎日運行

首都圏から誘客へ

丸一観光(七尾市)は  
12日から、ウィラー・  
トラベル(東京)と提携  
し、七尾・和倉温泉—  
東京・東京ディズニー  
リゾート(TDR)を結ぶ  
新高速ツアーバスを毎  
日運行する。和倉では地  
元の観光スポットや奥  
能登を巡る定期観光バ  
スと接続させるなどし、  
首都圏の若い女性らの誘  
客を狙う。



七尾発便が和倉温泉  
観光会館前を午後9時

15分出発、七尾駅前、金  
沢、新橋、品川に停車し、

翌午前7時40分にTDR  
到着。東京発便は午後  
9時20分にTDRを出发  
し、翌午前8時に同観光  
会館前となる。

価格は標準の4列シ  
ートが片道4600円か  
ら6千円で、ゆったりと  
座れる3列シートは2千  
円ほど割り増しとなる。  
同高速バスと能登空港  
—羽田便の利用をセット  
にした格安商品も企画し  
ている。

ゆったりとした3列シ  
ート8席を備えた新高速ツ  
アーバスの車両



9

浅野太鼓楽器店「石る。」

川原白山市は、創業四百年を超えた。和太鼓が専門。この間北陸にしっかりと根ざし、伝

「わずか五人ほどで造る太鼓は、月に十張の技術を培って、世りほど。まさか世界に界に播るさな位置づけを確保してきた。兄と

年間生産は現在、大家業を継いだ三十年は小合わせて約八千六百ど前を、専務の浅野昭張り。原木の選択・切利さん(左)石川県白り出してから華張り、仕山市は、そう思い起上げまで生産工程は一こす。販路拡大に積極質している。口径が三的だったわけでない。尺(九十センチ)を超える「品が良いなら、太鼓大太鼓となると、国内は浅野、とロコミで広シエアの七割を超えがるだろう」と。

さらに海を越え、そんな一地方の太鼓欧米にも出荷してい店だったが、衝撃的な太鼓の調整などと同

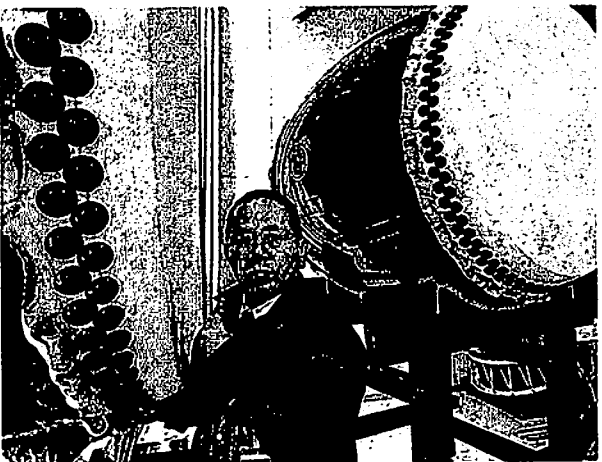
浅野太鼓楽器店

1609(慶長14)年創の石川県白山市福留まで全工程を一貫して業。加賀藩が70年に有限会社、80年に株式会社とした。研究情報誌「たいこるじい」を創刊している。師・左衛門五郎が、石原木の切り出し、くり川郡石川村福富(現在 抜き、華張り、仕上げ

海外にも和太鼓出荷  
浅野太鼓楽器店専務 浅野昭利さん

北陸の木音絶品

北陸中目 50



微妙な音を聞き分ける浅野昭利さん＝石川県白山市で

行し、演奏に対する反響の大きさを目の当た

りにした。そして「太鼓を始め人も増えに、外国産では亜熱帯幼木が、今では四段。鼓は世界で受け入れられた。現在は国内に約一地方のものも扱っ。そわわくしている」と確信した。万五千、欧米で約四百の経験から言えば「石川と新潟のケヤキが特舞するように、この一も見学できる工場や資る。もちろん、浅野の太のケヤキは稀なアナイムで開料館、太鼓練習場など「太鼓の里」の整備に鼓、を求めチームもて、硬い。そんな材質 乗りに出した。一九九一増えた。「音作りをりは、倍音がよく出て響「NAMM SHOW 年になると、女性三人クエストされ、これに きも伸びる。世界で響く太鼓は、市)2010で、創のチーム「総太鼓」を技術でたえる関係に 業四百年をたたえる表誕生させた。ファッシ 変わってきた。それが北陸の森が支えてい 業四百年をたたえる表 ヨンデザイナーの山本 うれしい」と浅野さる。「誇らしいね」と 彰を受けた。「世界に 寛齋さんも協力。世界人。太鼓文化の成熟を 浅野さん。将来のケヤ 認めてもらったな」。 各地で公演したが、ど 感じるまでになった。 木材確保に備え、二〇 誇らしい顔が、まば 〇三年には石川県六水 ゆく光った。 町で、植林を始めた。 文・ 今井智文 写真・ 西浦幸秀

都内の駅は全国各地の観光ホスターでにぎやかだ。ふるさとの兼六園や千枚田、白山の写真に出会つと、人込みの中でも



思わず立ち止まってしまふ。ある北陸の観光パンフレットを手に取ると、金沢―五箇山―高山のルートが紹介されていた。担

首都圏では同じ北陸

当者が「北陸3県が連携すれば、1+1+1=3以上になる」と、広域観光の推進をとなえていた。幸いにも北陸には金沢という確立した観光ブランドがある。首都圏から見れば、自治体の都合によるバラバラな誘客合戦よりも、金沢を核にした「北陸の旅」を提案してほしい。新幹線時代の要諦だろう。(松本和也)

カキ産地穴水町の商店主が11日までに、「かき蒸し器」を試作した。カキ以外にも地元産食材を蒸して味わえる調理器具として、イベントなどで活用する。11日に同町大町で試食会が開かれ、住民らが蒸しガキやリゾットなど「イタリア風」を味わった。「イタリア化」による町おこし「ノトリ

# ノリアーナ 事業活性化へ

「アーナ事業」にもつなげていく。

同町川島の燃料店経営谷内和雄さん(62)が、同所の建築板金業伊豆田昭さん(54)の協力で3器を完成させた。能登半島地震で被害を受けた地域産業の早期復興を図るための県産業創出支援機構の「産業復興販路開拓等支援事業補助金」を活用し

# 穴水カキイタリア風に

## 蒸し器試作 イベントで活用

ステンレス製の鍋、ふたとドラム缶を利用した専用台にガスこんろを取り付けた。縦50センチ、横70センチの丸形1器を製作した。器具は焼きガキのこん

### 住民が試食会

るよりも簡単に運搬できるといい、季節を問わず、イベントなどで貸し出される。第1弾として20、21日に開かれる穴水大町商店会の「わいわい かきまつり」(北國新聞社後援)で利用される。被災した旧町立図書館



「かき蒸し器」で作った料理を試食する住民  
＝穴水町大町

の建物跡で開かれた試食会では、白の能登ワインをかけた蒸しガキやワイン用ブドウのソースを絡めた温野菜、リゾットなどの出来栄を確かめた。穴水町では、カキ、ワ

インなど共通の特産物や、ノート(Noto)町があることなどからイタリアに結び付けた活性化の取り組みが検討されている。能登とイタリアの食材を組み合わせ、新たな味を考案するなど、の取り組みを通して、谷内さんは「ノリアーナを盛り上げたい」と話した。



おむすび弁当の  
販売開始を報告  
白山百膳第3弾

白山商工会の白山百膳実行委員会の中  
山明設副委員長ら関係者7人は11日、県庁に  
三國栄観光交流局長を  
訪ね、白山百膳の第3  
弾「山里おむすび弁当」  
の販売開始を報告した  
。写真。早速、弁当



をほお張った三國局長  
は「おいしくて健康に  
良さそう。彩りも豊か  
だ」と語り、その味に  
太鼓判を押した。

同弁当は竹皮の箱に  
入り、地元のコメを使  
って白山3降に見立て  
た3種類のおむすび  
と、軟らかく煮込んだ  
インゲン肉やナメコ入  
り寒天など白山産なら  
いではの味が詰まってい  
る。1個800円  
で予約販売してい  
る。

同実行委による  
と、白山百膳は2  
008年秋に販売  
を始め、今年1月  
までに累計で5万  
食を売り、販売額  
は約8500万円  
と云う。

山里おむすびPR

「白山百膳」の新作弁当 県 庁

白山商工会(石川県 日、県庁に三國栄観光  
白山市)の白山百膳わ 交流局長を訪ね、地産  
い創出事業実行委員会 地消の料理を提供する  
のメンバーらが十一「白山百膳」の取り組

みで、三月から新商品  
「山里のおむすび弁  
当」の予約販売を始め  
たことを報告した。

竹皮の弁当箱に、イ  
ワナのそぼろや梅干し  
を添えたおむすびのほ  
か、地元で採れた山の  
幸を詰め込んだもので  
「おむすびで観光客と  
地元の縁を結びたい」  
と紹介。試食した三國  
局長は「健康に良さそ  
うですね」と応じ、P  
Rの協力を約束した。

白山百膳は二〇〇八  
年十月から地元旅館な  
どが提供。今年一月ま  
でに三十四店舗が八十  
三商品を販売し、約五  
万膳(約八千五百万

円)を売り上げてい  
る。

山里のおむすび弁当  
は一膳八百円。当日販  
売は四月からの予定。  
(宮尾幹成)



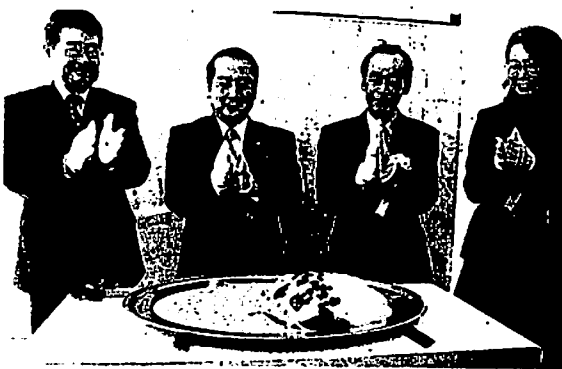
「山里のおむすび弁当」を試  
食する三國局長(左)＝県庁で

白山産の堅豆腐を使  
った白いカレー「白山  
チームホワイト」を結  
成発表会は11日、白山市  
市のインド料理専門店  
瀬戸のかんぼの郷白山  
の協力を受けてきた。  
尾口で開かれ、飲食店  
関係者ら約50人が独特  
の色合い、濃厚な味を  
混ぜ、豆乳を加えてま

濃厚 白いカレー

「白山ふもと会」が観光  
客を呼び込む目玉にし  
ようと取り組んだ。同  
会では有志を募り、特  
別メニューを引き出し、  
堪能した。  
白いカレーの開発  
は、県中小企業団中た  
14日のホワイトテ  
ラ中央と白山産旧5村の  
観光協会員らでつくる  
「白山ふもと会」が観光  
客を呼び込む目玉にし  
ようと取り組んだ。同  
会では有志を募り、特  
別メニューを引き出し、  
堪能した。

堅豆腐入り 白山ふもと会が試食会



完成した白山堅豆腐カレー  
＝白山市内の宿泊施設

22. 3. 12  
北国(朝・夕)  
国際交流課

## 関係修復が狙いか

新潟知事

国交省から副知事起用へ

新潟県の泉田裕彦知事が、副知事に国土交

通省運輸安全政策審議

官の大野裕夫氏(55)を

起用する方針を固めた

ことが11日、分かった。

知事は北陸新幹線の整

備をめぐって国交省と

対立し現在も協議を

続けていることから、

関係修復を進めて県

の意向をより反映さ

せる狙いがあるともみ

られる。

開会中の県議会に提

案、可決される見通し。

対立し現在も協議を

続けていることから、

就任する副知事ポスト

は、総務省出身者が続

いていた。自民党県連

幹部は「新幹線整備で

こじれた関係を修復さ

せ、日本海側の拠点港

湾選定や観光振興にも

つなげたいのでは」と

指摘している。

大野氏は東大卒。1

977年に旧運輸省に

入省。2004年から

06年にかけて、北陸信越

運輸局(新潟市)の局

長を務めた。

## タケオカ自動車工芸

# 韓国で電動ミニカー

### 部品輸出 現地企業組み立て

一人乗り「ミニカー」を製造するタケオカ自動車工芸(富山市)は、韓国に部品を送り、現地企業による電動タイプの組み立てと販売を始める。先月、三分の部品を送り、六月には第二弾の四台分を輸送する予定。武岡栄一社長は「自社工場では年百台を生産しているが、大幅に増やせない。韓国での生産、販売は業績向上につながる」と期待している。(村松権主應)

組み立て・販売をするのは、釜山に本社のある非鉄金属メーカー「世保金属」。昨年秋、東京モーターショーに出展された新型車「ミリューター10」を見て、韓国での販売をタケオカに持ち掛けた。完成車として輸出すると関税が高いため、約二千点ある部品を約十のパーツに組み立てて輸出する。

今後、輸出した台数に応じてライセンス料を受け取る契約を結ぶ予定。世保の取引先やインターネットでの販売が見込まれる。韓国の需要について、武岡社長は「日本と同様、高齢者や障害者が近い場所に行くための利用を想定しているようだ」と話す。

二月には、世保の社

員がタケオカで二週間、の組み立て研修を受けた。鉛電池を使った屋根付き四輪スクーター(国内価格約四十五万円)とミニカー(約八十万円)計三台の部品を送っており、市場調査を兼ねた販売をする。

対応したT-10(約九十万円)を発売する方針で、五月に再度、研修者が来日。組み立て研修をするT-10と福祉タイプ車両(約百万円)について、六月に四台分の部品を送る予定。

タケオカは六月、リチウムイオン電池にも

タケオカは二年ほど前、ロシアで広告用車両として販売する計画

でまず一台を輸出したが、窓口となる現地企業の経営が悪化して中止した。韓国での販売は事実上、初の海外進出となる。

このほか、アプタレ(アラブ首長国連邦)の王族から電気とガソリンタイプのミニカー計三台を受注しており、四月にも輸出する。武岡社長は「博物館に展示するもので、好評なら販売が視野に入る」と説明している。



タケオカの新型車「ミリューター10」。優れた機能、デザインで「富山プロダクツセンター」に選ばれた。富山県高岡市の県産業高度化センターで